

2025

Don’t Stop Dreaming

写真21点、アーカイバル・ピグメント・プリント
ナレーション付き映像1点（1分30秒）
ジョシュア・ツリー＆パームスプリングス

表紙: *Desert Reverie*

ジョシュア・ツリー＆パームスプリングス、2025年

シリーズ	*Don't Stop Dreaming*
制作年	2025
作品数	写真21点
技法	アーカイバル・ピグメント・プリント、限定エディション
映像	ナレーション付き映像、1分30秒
撮影地	ジョシュア・ツリー＆パームスプリングス、カリフォルニア

ジョシュア・ツリーとパームスプリングスの砂漠の風景のなかで、共鳴としての身体。

ジョシュア・ツリーとパームスプリングスの荒涼とした根源的な風景を背景に、『Don't Stop Dreaming』は身体を主題としてではなく、共鳴として探求する。この新作群はセルフポートレートと砂漠の記念碑的な静けさを溶け合わせる――岩、皮膚、光、沈黙が、内省の地形のなかで出会う場所である。

私的な対峙として始まったものは、存在と場所のあいだの視覚的な対話へと育っていった。これらは伝統的な意味でのポートレートではない。静かな認識の瞬間であり、そこで作家の身体は痕跡となり、大気を通す導管となる。脆さ、孤独、そして静止の可能性が、この作品の感情の地勢をかたちづくる。

『Homage Erwin Olaf (Palm Springs)』をはじめ、シリーズのいくつかの作品には、写真の遺産に対するファン・スハルムの向き合い方が映し出されている。オラフの死の直後、かつてオラフ自身が撮影した同じ砂漠で制作されたこの作品は、胸を打つ追悼を捧げる――砂漠の岩に置かれた一台のハッセルブラッド、映画的で、静止したまま。それはオマージュであると同時に、静かな継承の身ぶりでもある。

『Don't Stop Dreaming』には、動く映像とナレーションを織り合わせた短い映像作品が含まれ、作品を時間と声のなかへと広げている。このシリーズはひとつの招待として差し出される――私たちがまだ十分には理解していないものに、開かれたままでいるために。





Homage Erwin Olaf · Parallel Dreams · Bending Not Broken

作家について

ルーベン・ファン・スハルム（1988年生まれ）は、ニューヨーク、アムステルダム、テルアビブを拠点に活動するオランダのビジュアル・アーティスト。写真と映像によって、光、水、天候、そして自然界のゆるやかな時間を記録している。

お問い合わせ：info@rubenvanschalm.com